

令和7年2月26日(水)11時～12時
鈴鹿市役所 6階 庁議室

（事務局）

それでは、ただ今より、鈴鹿市雇用促進連携協議会（報告会）を開催いたしますのでよろしくお願いたします。本日の司会進行を務めさせていただきます鈴鹿市産業政策課長の野島でございます。本日は、16団体17名の方々に御出席いただいております。

なお、オブザーバーとして、ハローワーク鈴鹿様及び三重県様にも御出席いただく予定でしたが、公務等により、御欠席となっております。それでは、はじめに開会のあいさつを、本協議会の会長であります、末松市長より御挨拶申し上げます。

【事項1 開会あいさつ】

（鈴鹿市長）

改めまして、皆様、こんにちは。大変お世話になっております。鈴鹿市長の末松でございます。本日は、皆様には大変お忙しいところ、令和6年度鈴鹿市雇用促進連携協議会（報告会）に御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。また、平素より皆様方におかれましては、市政各般に亘り、御理解と御協力をいただいておりますこと、この場をお借りいたしまして、改めて御礼と感謝を申し上げますところでございます。

皆様方には、昨年6月の第1回目の本協議会以降、各部会での会議や、合同部会での会議など、本市の雇用促進に向け、活発な御議論を頂戴いたしました。その中で、各部会におきましても、年間を通じて、様々な取組の実施に御協力をいただきまして、改めて御礼を申し上げます。特に、昨年は東京で開催させていただきました就職フェアにつきましては、たくさんの方々にお越しいただき、熱心にお話を聞きにいただきましたことには、大変驚いたところでございます。実は、どれくらいの人数が御来場いただけるのかと、すごく不安ではあったのですが、東京でさせていただきましたことの効果というのも少しずつではありますが、実感として捉えているところでございます。

新聞等々で御案内させていただいておりますが、来年度の4月からでございますが、本市の東京事務所を開設するにあたり、雇用と企業誘致の両方をしっかりと取り組んでいくことで準備をさせていただいているところでございます。是非、鈴鹿市雇用促進連携協議会が就職フェア及び企業立地フェア、併せて、この「鈴鹿 de はたらこっ！プロジェクト」に大きな力を発揮いただけますと、大変ありがたいと思っております。是非とも、本日の報告会、そして本協議会が、これからの本市の雇用の促進に繋がっていきますことを皆様とともに確立をさせていただきたいと存じます。どうぞ有意義な会議になりますことを祈念いたしまして、冒頭の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

【事項2 今年度における各部会の取組内容】

(事務局)

それでは、事項の2に移ります。「令和6年度鈴鹿市雇用促進連携協議会の概要について」でございますが、本協議会におきましては、市内企業におけます様々な課題について、特に、若年労働者等の人材確保に向け、官民が連携して雇用対策に関する情報共有、連絡調整等を行い、本市の雇用施策の一層の推進を図ることを目的に設置させていただいており、鈴鹿商工会議所様をはじめ、企業部会、大学部会、高校部会の多大なる御協力により、運営させていただいております。特に、第1回目の本協議会以降につきましては、7月から9月にかけて、企業部会、大学部会、高校部会での会議において、各部会が抱える課題等についての共有や、雇用の促進に向けた活発な御議論を実施していただき、各種取組を実施してまいりました。具体的な内容といたしまして、まず、企業部会及び大学部会の取組につきましては、12月20日開催の「鈴鹿 de はたらこっ！ 合同企業説明会」の開催や、企業部会及び高校部会の取組につきましては、11月5日に実施しました市内高校見学ツアーをはじめ、1月21日及び28日には市内企業見学ツアーを実施し、本市の雇用の促進に向けて、様々な取組の実施に御協力をいただきました。つきましては、取組内容の詳細について、各部会より御報告いただき、最後にオブザーバーとして三重県様より事前にコメントをいただいておりますので、代読させていただきます。まず企業部会及び大学部会の取組といたしまして、12月20日開催の「鈴鹿 de はたらこっ！ 合同企業説明会」につきまして、大学部会を代表して、鈴鹿大学の鹿島様より、御報告いただきます。

(鹿島氏)

取組につきましては、お手元の資料のとおりでございますが、本協議会におきましては、6月25日に第1回目の会議が開催され、その後、「鈴鹿 de はたらこっ！ 合同企業説明会」を開催したところでございます。当初、「鈴鹿市採用プロジェクト」を鈴鹿市から提案いただき、その後、部会の方で協議を重ねてまいりまして、本説明会を開催するに至ったところでございます。

就活生の現状といたしまして、就職活動を早期の段階から積極的に実施し、内定を得ている学生もいれば、就職活動を継続中の学生も存在します。特に、他の大学でも同様かと存じますが、内定を早い段階から獲得し、その後、複数社のエントリーを実施する学生が今年は多かったような印象です。また、学生の中には、年末の時期においても、未内定の学生が50から60名ほど存在するという御意見もございました。さらに、年末の時期においても、引き続き、求人を募集している企業の情報収集に苦悩しているという御意見もございました。そのため、各大学におかれましても、学生に対し継続的に支援することが重要ということから、マッチングの場を提供するため、昨年12月に合同企業説明会を実施するに至りました。次のページは、参加学生のアンケート結果でございますが、参加者数は7名と限られた人数であり、企業様からは学生の参加が少ない、開催時期を見直すべき等の御意見を頂戴しております。しかしながら、求職者側のアンケートからすると、例えば、問3の1人当たりの訪問者数は4～6社が最も多いという結果となっております。また、問7でござい

が、「企業と話すことで得られたことが何ですか？」という問いについては、「学生自身に合う仕事かどうか知ることができた。」という回答が最も多かった点、さらには、問8の満足度では、過半数以上が満足しているという回答結果となっております。さらに、今回の資料にはございませんが、鈴鹿市が実施した企業側への追跡調査では、今回の合同企業説明会の結果、エントリーや応募、さらには、採用につながったという回答もあったと聞いており、本合同企業説明会が学生にとって実のあるかたちとなったのではないかと考えております。一方、先程も申しましたとおり、企業側からの御意見では、参加者数が少なかった等の御意見を頂戴しており、開催時期については、企業側の採用スケジュール等を考慮しますと、少し遅かったと考えております。

そのようなことを踏まえまして、令和7年度以降につきましては、学生の動向等を考慮しながら、就職支援について進めていければと考えております。また、その他の課題といたしまして、企業も含めた鈴鹿市の魅力の発信に注力する必要があるかと考えております。簡単ではございますが、説明は以上でございます。

(事務局)

先程の御説明にもありましたとおり、開催時期の見直しや、魅力を発信すべき等、本市としましても課題として受け止めており、今後ブラッシュアップして進めたいと考えております。それでは、次に企業部会及び高校部会の取組といたしまして、11月5日の市内高校見学ツアー及び11月21日及び28日の市内企業見学ツアーにつきましてご報告いただきます。まずは、11月5日の市内高校見学ツアーにつきまして、白子高校の久保田様より御報告いただきます。

(久保田氏)

高校部会を代表いたしまして、御説明させていただきます。6月の本協議会の際に、高校に向けた取組といたしまして、事務局より、企業の若手社員を高校に招き、一緒にパネルディスカッションを行う「就職体験談イベント」の案を提案いただき、その後、高校部会や、企業部会との合同部会で協議を重ねてまいりました。その結果、まずはお互いを「知る」という観点から、企業及び高校の見学をしてみてもどうかという御意見から、見学ツアーを実施するに至りました。当日は、対応可能な高校を見学先として、合計6社の市内企業に見学いただきました。今回は、対応可能な高校が3校のみではありましたが、参加企業のアンケート結果では、「それぞれの高校に特色があることを知った。」や、「授業の様子等を拝見し、参考になった。」などの御意見を頂戴しました。なお、以前までは、企業の求人票を頂戴する際や今後の採用計画等を御説明いただく時のみ、企業にお越しいただいておりましたが、今回は、限られた時間ではございましたが、企業に高校の授業の様子等を御覧いただき、高校を知ってもらう機会になったかと思っております。続いて、7ページ目及び8ページ目を御覧ください。先程とは反対に、企業に高校教員等が見学させていただくという取組でございました。以前より、各高校では、生徒が企業を見学させていただく取組は実施しておりますが、高校教員等が企業側に見学させていただくことは、あまりなかったことから、今回見学させ

ていただいたことにより、生徒に企業の魅力を教員の立場からも発信することができるかと考えております。今回は、限られた企業数でございましたが、鈴鹿市は多くの企業が所在しておりますことから、今後は幅広く実施していただくのが良いかと感じました。

なお、以前から本協議会に参加させていただいておりますが、今年度は、課題の共有や、意見の集約のみに留まらず、取組の実施に至っており、本協議会全体として成果があったものではないかと考えております。鈴鹿市は「鈴鹿 de はたらこっ！プロジェクト」と称して、市内の雇用の促進を図るために、様々な取組を実施しているという点を、生徒にも発信しており、本校におきましても、就職希望のほとんどの学生が内定を頂戴している状況でございます。また、鈴鹿商工会議所主催の就職フェアにつきましては、各校の生徒が直接企業と面談することができ、大変貴重な機会であると考えており、令和7年度に向けても、鈴鹿市を中心に企業、高校が連携し、様々な取組を実施できればと思います。説明は以上でございます。

(事務局)

続きまして、1月21日の市内企業見学ツアーにつきまして、ICDA ホールディングスの川戸様よりご報告いただきます。

(川戸氏)

それでは、私から企業部会の取組について御説明させていただきます。先程、高校部会での御説明にもありましたが、6月の本協議会の際に、高校に向けた取組といたしまして、事務局より、企業の若手社員を高校に招き、一緒にパネルディスカッションを行う「就職体験談イベント」の案を提案いただきまして、その後、企業部会や、高校部会との合同部会で協議を重ねてまいりました。その結果、高校や企業のお互いを「知る」機会が必要などの御意見から、「市内高校見学ツアー」に続き、1月21日及び1月28日の2日間にかけて、「市内企業見学ツアー」を実施するに至りました。本ツアーは、対応可能な企業で参加させていただき、1月21日は、三重執鬼様、慈童会様、弊社を含む3社を見学先として、高校教員や三重県教育委員会事務局の方々など、計13名に見学いただきました。ありがとうございました。参加された方々のアンケート結果では、「新入社員の教育に力を入れていることがわかった。」や、「学年集会や、保護者会等でも伝えたい。」、「進路に悩んでいる生徒への具体的なアドバイスができる。」などの御意見をいただき、企業の魅力や社風等を知っていただく機会になったかと思えます。

今回は、本協議会の企業部会における数社の実施ではありましたが、鈴鹿市内には、たくさん魅力的な企業が存在すると思えます。今後は、この素晴らしい取組を横展開したいですし、高校生やその保護者等にも魅力を発信することも重要かと考えます。また、2月の鈴鹿商工会議所主催の就職フェアにつきましては、弊社にたくさんの学生や保護者に御来場いただきました。体感的には、鈴鹿市内で働きたいという学生が多いと感じました。

一方、企業側の課題ではありますが、学生等に対し、企業の魅力を十分に発信できていないというのを感じております。それについては、今後も、このような機会を増やしていただ

き、改善していくしかないかと思っておりますので、引き続き、連携していきたく思いますし、企業側の視点から、雇用を促進する取組について、本協議会で議論させていただきたく思います。説明は以上でございます。

(事務局)

続きまして、1月28日の市内企業見学ツアーにつきまして、イケダアクトの田中様より御報告をいただきます。

(田中氏)

「市内企業見学ツアー」について御説明させていただきます。当日は弊社の他、富士フィルムマニュファクチャリング様、トピア様を見学先として、高校教員や三県教育委員会事務局の方々など、計11名に見学いただきました。参加された方々のアンケート結果では、「地元の高校生をどんどん雇用していただきたい。」や、「地元企業の魅力を生徒に伝えたい。」、という御意見の他、「現場で感じることもあるので、生徒には必ず応募前に見学させたい。」などの御意見をいただき、企業を知っていただく機会になったかと思えます。一方で、「時間が少し短い。」や、「直接生徒にも語っていただける機会をお願いしたい。」、要は、働いている方の意見や感想等を聞きたいという御意見もございました。今後は、学生に直接PRできるような場もあっても良いかと思えます。

なお、弊社は約3年前に、建設業協会主催で高校進路指導御担当者にお集まりいただき、現場見学や建設業の概要説明等を実施させていただきました。その際は非常に好評をいただき、生徒にも積極的に発信していきたいという御意見もございまして、先生方に知っていただくということも必要なポイントであるというように思います。当然、就職の選択は生徒本人ではありますが、先生方や保護者等の意見も重要かと思えますので、そのような方々に向けたイベントとしましては、良かったかと思っております。また、企業の魅力を伝えるために、企業側の経営環境等を改善した結果、定着率の向上に繋がりました。当然、それに係るコスト等も発生しますが、会社スタッフまたは今後入社予定の方々に対して誠意を魅せることも重要な点かと思っておりますし、会社スタッフも家族同然のように接することで、地元企業の良さをPRできればと思います。「採用」はあくまで入口であって、そこから企業が育成していくことが、我々地元企業のミッションと自負しておりますので、今後も地元の良い企業があるというように思っただけのよう、精進したいと思います。今後も、企業側の視点から、雇用の促進に向けた議論をさせていただきたく思いますので、よろしく願いいたします。説明は以上でございます。

(事務局)

本日はオブザーバーとして、三重県の岩崎様よりコメントを頂戴しておりますので、代読させていただきます。

(岩崎氏 ※代読)

各部会の取組内容を興味深く読ませていただきました。まず、「大学部会及び企業部会」の取組についてでございます。三重県もいろいろな大学を訪問していますが、どの大学からも異口同音に言われるのが、「学生から見れば、”合説”が多すぎて、参加する”合説”が絞れない」という点です。参加企業アンケートのご意見にもあったように、もし、次年度も実施するのであれば、開催時期の検討や開催規模を小さくするなどの工夫があればよいかと感じました。次に、「高校部会及び企業部会」の取組についてでございますが、企業向けアンケートの意見の中に、インターンシップの重要性の記述がありました。この点については、インターンシップを経て入社した就業者の方が定着割合は高いと言われており、職場定着支援の観点からも、三重県において重視しています。三重県では、令和6年度はインターンシップの効果的な活用を伝える企業向けセミナーを開催していますが、令和7年度は、さらに企業に寄り添う形の支援とし、個別企業のインターンシップの募集方法や実施内容等について伴走型支援を行い、ブラッシュアップを図る事業を実施する予定です。支援する対象により、適切な支援方法は異なるかもしれませんが、インターンシップにかかる支援について、参加者間で御議論いただくのも、よろしいかと感じました。

(事務局)

皆様から頂戴しました御意見も踏まえ、今後の雇用施策に活かしていきたいと思っております。なお、その他といたしまして、9ページを御覧ください。こちらは、市内企業様を対象とした取組といたしまして、11月13日、1月28日、採用力向上に関するセミナーを実施いたしました。11月13日の本セミナーでは、26名に御参加いただき、参加された方々からは、「就活に対する求職者の考え方が大きく変わっていて、とても勉強になった。」、「とても参考になる内容で、あっという間の1時間でした。」など、大変御好評をいただきました。また、1月28日の採用力向上ワークショップにおきましては、同じくキャリアアドバイザーを講師に招き、採用広報の基本から、現在の採用に関するマーケット情報、実際に採用広報を成功させるポイント等についてワークショップを交えながら講演いただき、参加された方々からは、「グループワークで他社との意見交換ができ有意義な時間でした。」、「新しい観点を発見することができた。」など、御好評をいただきました他、「他社とのコミュニケーションの機会がもっと欲しい。」、「キャリア採用の市場や戦略について今後知りたい。」など、大変前向きな御意見もいただきました。続きまして、10ページを御覧ください。こちらは、名古屋などの市外、県外で働く求職者に向けたUIJターン就職を促すための取組として、11月15日・16日、1月30日に開催した他、本日、明日にかけても、吹上ホールで市内企業に御出展いただいております。事項書2は以上となります。各取組を御説明いただきました皆様、誠にありがとうございました。今年度、皆様に御協力をいただきながら、各種取組を実施してまいりました。取組によって良かった点や今後、改善が必要と思われることもございましたので、引き続き、皆様の御意見等をいただきながら、雇用施策を推進していきたく考えております。

【事項3 来年度に向けて】

(事務局)

事項の3に移ります。資料4を御覧ください。こちらにつきましては、産業振興部長の今村より御説明させていただきます。

(今村)

それでは、資料4について御説明申し上げます。先程、事項2での御説明におかれましては、各部会を中心に、様々な取組を進めていただきましたが、取組の結果を踏まえ、今後、継続的な実施を検討すべき内容もあれば、改善の上、より良い取組にすべき内容もあったかと思えます。そのため、本市では、今年度に創設した「鈴鹿 de はたらこっ！プロジェクト」により、引き続き、産学官が連携して、本市の実情に即した事業を継続的に展開し、「チーム鈴鹿」として本市の雇用を促進する取組を展開するため、今年度の取組の検証を踏まえた上で、引き続き様々な取組を実施してまいりたいと考えております。また、令和6年度におきましては、UIJ ターン就職の促進を図るため、「就職フェア IN TOKYO」を開催したところ、20代の若者を中心に、多くの求職者に参加いただき、本市に関心を持たれる若者が潜在的に多くみえることが実感できました。さらには、令和7年度4月より、本市の出先機関であります東京事務所が開設される予定でございます。これにより、東京事務所と連携した首都圏における本市へのUIJ ターン就職がさらに促進されるとともに、雇用のより一層の促進を図るため、以下の取組の実施を検討しております。まず、企業向けの取組といたしまして、今年度に引き続き、セミナーの実施も含め、「市内企業の採用力の向上に資する取組」を検討しております。また、企業に加え、高校向けの取組でもあります「企業と高校の採用・就職に関する情報交換会」を実施いたします。

次に、高校向けの取組といたしまして、インターンシップの他、高校生に向けた雇用を促進する取組を検討しております。これについては、高校生のみならず、その保護者等をはじめとする関係者等への波及が見込まれる取組の実施や、市内企業全体の就職者数の向上に資する取組の実施を検討しております。大学生に向けましても、同様の取組を検討しております他、求職者全般に向けた取組といたしまして、市内企業見学ツアーや、合同企業説明会 in すずか、東京での就職フェアなど、様々な取組を通じて、市内企業の雇用促進を図ってまいります。来年度におきましても、引き続き、市内の雇用の促進を図るため、本協議会へのお力添えを頂戴したく考えております。来年度の本協議会におきましては、改めて御案内させていただきますので、よろしく願い申し上げます。説明は以上でございます。

【事項4 その他】

(事務局)

次に、事項の4に移ります。資料は5、6になります。こちらにつきましては、産業政策課の岸より御説明申し上げます。

(岸)

資料5でございますが、昨年11月、東京の三重テラスにて、市内企業へのUIターン就職の促進を目的として、「鈴鹿 de はたらこっ！就職フェア IN TOKYO」を開催いたしました。開催する前後にも求職者等から問合せを頂戴し、次回以降も参加したい趣旨の御連絡をいただいております。来年度におきましても、東京事務所と連携の上、東京での就職フェアを開催したいと考えております。続きまして、資料6でございますが、今年3月22日に鈴鹿市役所で開催します、「合同企業説明会 in すずか」のチラシでございます。今年は、市内企業41社に御出展いただく予定で、学生を含む、全ての求職者を対象としており、現在、参加募集をしているところでございます。もし、お知り合いの方々に、このようなイベントに参加したいという御意見がございましたら、本イベントを周知いただけますと幸いです。

その他、本市では、本市の雇用施策をスポーツの分野から積極的に発信するため、アトレチコ鈴鹿クラブ及び三重バイオレットアイリスの御協力のもと、PRポスターを作成いたしました。本ポスターは、本市の公共施設の他、各関係機関や民間施設でも掲示いただいておりますが、もし、御協力いただけるようでしたら、皆様方におかれましても、ポスターの掲示を御協力いただけますと幸いに存じます。最後に、資料にはございませんが、今後の本市の雇用施策のため、各高校様、大学様を対象に、就職状況に関する調査を検討しております。詳細は、追って御連絡させていただきますので、御協力のほど、よろしくお願いいたします。

(事務局)

以上が事項書の説明になります。全体を通して質問やコメントはございますでしょうか。

(鈴鹿市長)

今年度、本協議会を通じて、令和6年度におきましては、様々な取組を手探りで実施してまいりました。取組の実施に際しては、企業様、学校様をはじめ関係機関の皆様方にきめ細かな部分まで御協力を賜り、以前までは実施できなかったことも、今年度は様々な取組にチャレンジさせていただきました。今年度の取組を精査させていただきながら、令和7年度にどのような形で成果に繋げるかがポイントになってくると考えております。課題が出た点は改善し、評価された点は水平展開させていただきながら、地元で働き、成長していただけるような若者の育成、ひいては企業の育成や学校教育の充実に繋がると思っておりますので、本日頂戴した御意見等につきまして、本市や産学官が連携して「オール鈴鹿」として、取り組んでまいりたいと考えておりますので、令和7年度におきましても、引き続き、御協力を頂戴したく思っております。また、事務局として鈴鹿商工会議所も御参画いただいております。緊密な連携が期待されますことから、引き続き、御協力、御支援のほど、よろしくお願いいたします。

【質疑応答・意見等】

(四日市大学 伊藤氏)

大学生向けのインターンシップを実施すべきかと考えます。特に、大学1、2年生など、

なるべく早い段階から実施することが理想かと思います。今回の取組におきまして、年末に合同企業説明会を開催しましたが、それだけではなく、それ以前にインターンシップを実施することで、学生が企業を知るきっかけになり、就職率の向上に繋がっていくかと思います。

(慈童会 古川氏)

鈴鹿市のPRポスターの活用につきまして、求職者の方々は、ホームページを御覧いただくことが多いことから、データでの提供をお願いしたいと思います。

(ICDA ホールディングス 川戸氏)

弊社は、本協議会に参加させていただくと同時に、鈴鹿市教育委員会からもお声がけいただいております。小学校4年生や中学生向けに鈴鹿市の企業情報を掲載してほしい旨、御相談をいただいております。一方で、掲載企業数は限られていることから、小学生や中高生、またその保護者へのPRという観点からも、鈴鹿市教育委員会とも連携の上、施策を展開いただくことも検討いただきたいと思います。

【事項5 閉会】

(事務局)

それでは、最後に、本協議会の閉会にあたりまして、本協議会副会長であります、鈴鹿商工会議所の田中会頭にご挨拶いただきます。

(田中会頭)

本協議会の副会長を務めさせていただいております、鈴鹿商工会議所会頭の田中でございます。皆様、本日は大変お疲れ様でございました。皆様方の御協力により、スムーズに本協議会を進行することができました。各部会の取組内容を拝聴させていただきましたが、今年度の取組を来年度に活かしていただきたく感じております。皆様方の前向きな雰囲気も伝わり、次回以降も楽しみにさせていただきます、本日の御礼を申し上げまして、閉会のご挨拶とさせていただきます。今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。

(事務局)

それでは、これをもちまして、鈴鹿市雇用促進連携協議会(報告会)を終了いたします。皆様、どうもありがとうございました。お気をつけてお帰りくださいませ。